

輸血部ニュース

15-vol.4 2016年1月12日
 広島大学病院 輸血部 発行：藤井 輝久
 編集：齊藤 誠司
 輸血部内線：5582, 6227
 PHS:2894, 2389

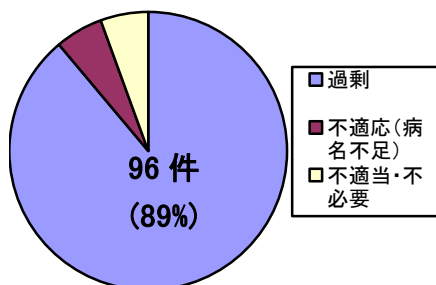
新年明けましておめでとう御座います。輸血部では今年も引き続き輸血に関する情報を皆様に発信し、安全かつ適正な輸血療法の推進に努めていきたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

『アルブミン製剤過剰使用の査定状況』

- ・ H27年4月～8月の5ヶ月間にアルブミン製剤の使用で保険診療上、査定された件数は108件（入院105件、外来3件）でした。
- ・ その理由のほとんど（89%）が過剰使用による査定でした。
- ・ 診療科別では移植外科（46%）、消化器外科（17%）、皮膚科（17%）と多い状況でした。

【査定されていたケースの背景】

1. アルブミン20%とアルブミンナー5%を同月に併用している。
2. アルブミン20%を手術例で使用していると、一律2バイアル（1004点）査定されていた。
3. 同一患者での査定が目立つ。



術前の不規則抗体スクリーニング検査は、術前1週間以内を目安に1回のみ検査して下さい

- ・ 本院では安全に周術期の輸血を行うため、術前1週間以内の不規則抗体スクリーニング検査（有効期限1週間）を実施しております。
- ・ 術前の不規則抗体検査で保険点数を算定できるのは、輸血を実施した場合に1回のみです。
- ・ これ以外の場合に検査を行っても無駄な検査となってしまいます。
- ・ 手術予定の患者では、手術前に初回血液型検査と血液型確定検査を行って頂き、術前不規則抗体検査を術前1週間以内に1回のみ行って下さい。

この記事に関するお問い合わせは
 輸血部内線 5582, 6227 まで